

若狭ネット

第118号 2009年 3月10日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先 福井：「止めなくちゃ！

げんぱつ」連絡会(〒915-0235 越前市不老町6-36 山崎方 TEL0778-42-3630) 大阪：日高原発に
反対する大阪の会(〒583-0007 藤井寺市林5-8-20-401 久保きよ子方 TEL/FAX 0729-39-5660)
ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/> E-mail: wakasa@gaea.ocn.ne.jp

若狭の原発の地震動過小評価を許すな！ 耐震安全性なき原発を廃炉に！ 美浜1・2・3号を閉鎖せよ！



3月29日(日)午後1時～4時半
米スリーマイル島原発事故30年のつどい
原子力立国計画の幻想と現実



- - もんじゅ、プルサーマル、地震と廃炉 - -

場所： 大阪市立阿倍野市民学習センター アトリエ



地下鉄谷町線「阿倍野」駅7号出口より
あべのベルタ地下2階通路を通り
エスカレーターで3階へ

「福井新聞 2009年2月26日号より転載」

複数断層の一体での連動を考慮するのは、

若狭湾東部のB断層、野坂断層、大陸棚外縁断層

甲楽城(かぶらぎ)断層と和布(めら)・干飯崎(かれいざき)沖断層

若狭湾西部のF0 A断層とF0 B断層 の3系統の断層群、そして…

関西電力、日本原電、日本原子力研究開発機構が
原発耐震性見直し、基準地震動再引き上げ

国は、若狭一帯の活断層に対し、「同時活動」を考慮

して地震動の評価をしていく方針をしめました。

関西電力、日本原電、日本原子力研究開発機構の
いずれも周辺の地質や断層の活動歴などから別個の
活断層としてきましたが、国は「明確に区分する根拠に

乏しい」「連動しないという考え方に無理がある」などと指摘しました。

「同時活動」を考慮するのが適切とされたのは
若狭湾東部のB断層、野坂断層、大陸棚外縁断層
甲楽城(かぶらぎ)断層と和布(めら)・干飯崎(かはいざき)
沖断層

若狭湾西部のFO - A断層とFO - B断層
の3系統の断層群です。

想定される最大地震の大きさ(加速度)である「基準地震動」について関西電力、日本原電、日本原子力研究開発機構の3事業者は、昨年3月の報告より、さらに最大で1.3倍近く引き上げる見直し案を示し、「もんじゅ」は600ガルから760ガル、敦賀原発は650ガルから800ガル、美浜原発は600ガルから750ガル、大飯原発は600ガルから700ガルにそれぞれ引き上げました。高浜原発は550ガルのままで変更はないとしています。

しかし、今回の見直しでも、地震動は過小評価となっています。の同時活動を考えてみますと、震源断層は43.7km(震源断層中央長さ)ないし49km(震源断層地表長さ)にもなり、松田式によればマグニチュード7.6ないし7.7の大地震が美浜原発を襲うこととなります。それだけでなく老朽化の著しい美浜原発です。原発が耐える保証もなく、放射能を大量に放出する重大事故が誘発される危険性があるのです。ところが、関西電力は入倉の断層モデルを使って地震規模をマグニチュード7.3に過小評価しています。地震のエネルギー規模で1/3ないし1/4に過小評価していることとなります。

関西電力は、美浜原発の耐震補強工事を安くあげようと、このようなトリックを使って地震動を過小評価しているのです。その上で、「補強工事をして40年を超えて運転を継続すべきか」、または「運転40年で廃炉にすべきか」を判断しようというのです。地震動の過小評価による美浜原発の延命には断固反対していきましょう。そして、美浜原発の即時廃炉を要求していきましょう。

もんじゅ運転再開 4月上旬に目標報告方針

日本原子力研究開発機構は2月26日、2月の運転再開を断念した高速増殖炉「もんじゅ」(敦賀市)について、4月上旬をめどに次の目標時期を決める方針を明らかにしました。もんじゅの耐震安全性に関する国の審査状況などを踏まえ、今後関係省庁と具体的な目標を

協議するとしています。耐震安全性の審査でもんじゅ周辺の活断層の同時活動が指摘されている点を挙げ、「審議は継続中だが、基準地震動の再評価が必要になる」と述べています。

もんじゅは、8月末の試験完了を目指し、運転再開前の準備作業や点検の期間も必要で、運転再開は12月以降になるとみられるとの報道もあります。敦賀半島にある原子力施設でも、阪神・淡路大震災のようなM7.3の直下地震が起こると考え、安全対策を立てなければなりません。いつでもどこでもM7.3規模の地震など不思議なことではないのです。私たちは、M7.3の直下地震に耐えられない原発は閉鎖するよう強く求めます。美浜1, 2, 3号炉の廃炉を求めて関電を追及していきましょう。3月29日のつどいで、このことについても話し合いたいと思います。ご参加をお願いします。

リサイクルできない プルサーマル計画は、危険！

私たちは美浜2号の蒸気発生器細管破断事故18年に当たって、2月6日午後6時から関電本社で申し入れ行動を行いました。プルサーマルに関して、公開質問書を提出しました。

原発コストに関して、「関電がホームページで、法定耐用年数ベースの原発コストを表しているグラフは、間違っているのではないですか？ 本当は運転年数40年ベースのコスト計算をしたものではないですか」と、問いたきました。関電広報は「原子力と火力は同程度なので、『遜色ありません』と表現したことは間違っていない」と主張し、「40年運転のグラフであるかどうか、今すぐに判断できない」と言いだし、「間違っていたら訂正するだけです」との受け答えでした。(後日、関西電力のホームページをこっそりと訂正する)

関電は「当社のプルサーマル計画」について、ウラン資源を95%リサイクルできるかのように宣伝していますが、これは全くのウソです。2010年に実施予定のプルサーマル計画は、石油ストーブにガソリンを入れるようなもので極めて危険です。ほとんど資源節約にもならず、高価です。後には強い放射線と高熱を出し続ける一層危険な使用済MOX燃料が半永久的に残ります。これらの問題を再度、3月27日の関電との交渉で追及します。一緒に追及しませんか。関電のプルサーマル計画を頓挫させましょう。

~~~~~ 今後の予定 ~~~~~

3月22日(日) 午後1時半～4時半

イラクに平和を！ウラン兵器の禁止を！

非核・平和 第18回学習会

1. ウラン兵器禁止を求める国際連合(ICBUW) コスタリカ世界大会と今後の課題
2. オバマ政権誕生で中東、核問題はどうか

場所: 苅田土地改良記念会館(地下鉄御堂筋線「我孫子」駅下車、東へ5分)

連絡先: 地球救出アクション97

3月27日(金) 午後6時～

美浜原発を廃炉に！

プルサーマル計画を止めよ！

関電に質問の回答を求める

場所: 関西電力本社

(地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅下車7分)

連絡先: 072 - 939 - 5660 くぼ



3月29日(日) 午後1時～4時半

米スリーマイル島原発事故30年のつどい

原子力立国計画の幻想と現実 - もんじゅ、プルサーマル、地震と廃炉 -

場所: 大阪市立阿倍野市民学習センター アトリエ

連絡先: 072 - 939 - 5660 くぼ

4月26日(日) 午後2時～4時半

チェルノブイリ原発事故23周年の集い

繰り返さないで！チェルノブイリ

場所: ドーンセンター5階視聴覚スタジオ 地下鉄谷町線「天満橋」駅下車 徒歩5分

連絡先: チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西 0797-74-6091 たなか

編集後記

- ・ 敦賀原発、もんじゅ、美浜原発と密集する敦賀半島。その周りには、ぐるりと活断層がとり囲んでいます。それぞれの活断層が連動することも考えないといけないと、国の審査委員も指摘しています。

今まで、敦賀半島は地震の空白域だから大丈夫だと宣伝していたのに、原発が建ってしまったから、本当の怖さを知らせてくれる現実に戸惑いは隠せません。原発は、やはり1日も早く止めなくてはなりません。原発の危険性を指摘し、美浜原発を廃炉にもちこみたいです。もうひとがんばりです。きよ子